JAだよりおおがた
Ogata
4
APRIL
2014 No.489

特集 女性部・青年部・若妻部総会 4面

今月号の主な内容

2面 表紙紹介・あぐりプラザ情報・フォトニュース
3面 サハリン（ロシア）に大鵬像を建てるプロジェクト支援のお願い
6面 座談会報告
8面 女性部活動だより
9面 理事会報告・青年部活動報告と予定・職員人事
10面 初めてのお誕生日・インフォメーション・新採用職員、女性参与紹介

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ

JA大潟村

JAだよりおおがた
Ogata
4
APRIL
2014 No.489

表紙のご紹介 「女性部総会後の講演会」

女性部は２月28日の総会終了後、（株）ピーベリー代表取締役の児玉美幸氏（西２－４）を招いて講演会を開催しました。「知らないと損する介護保険の仕組み～村の現状と将来」と題して、介護予防のための運動や、介護保険の仕組みなどについて楽しみながら学びました。

時おりユーモアを交えながら講演する児玉氏

あぐりプラザ トクトク情報

― ４月の特売 ―

4月24日㈭・25日㈮ 目玉商品を多数ご用意してお待ちしております！

4月10・20・30日 ０（ゼロ）のつく日は **ポイント２倍デー！**

お知らせ

★**今月のポイント３倍優待券配布日**

・４月11日（金）～17日（木）
…この期間中にお買い物されたお客様、お一人様につき１枚ポイント３倍優待券を配布！

・４月18日（金）…優待券の有効日
…この日、優待券を持ってお買い物されたお客様にポイント３倍プレゼント！

★**営業時間の変更**

４月から土日祝日も午後７：00まで営業しております。

お問い合わせは生活課（45－2214）まで。

フォトニュース PhotoNews

原料米事情と村の農業を考える 組合員研修会

ＪＡ大潟村は３月７日の座談会終了後、ＪＡ会館大会議室を会場に組合員研修会を開催。村内農家が講演会を通して、今後の米政策と村の将来の展望について考えました。

この日は、全国米菓工業組合専務理事の松本裕志氏が、「原料米事情と大潟村との関係」と題して講演しました。平成22年から始まった村の加工用米取引の立役者でもある松本氏は、「平均耕作面積が17・５haの大潟村は非常に効率的な米作りをしており生産コストが低い。我々米菓産業はこれから活性化していくと思うが、もっと国産の原料を使用できるような制度を早く作ってもらい、大潟村の皆さんとの関係が今後も続くことを期待している」と持論を展開しました。

講演する松本氏

サハリンに大鵬像を建てよう 「大鵬の銅像を建てる会」役員会

３月17日、ＪＡ会館大会議室で「サハリンに大鵬の銅像を建てる会」役員会が行われ、会長の高橋浩人村長を中心に16人が参加しました。

この会は、大潟村文化情報発信者の彫刻家・鎌田俊夫さんが現在取り組んでいる〝昭和の大横綱〟大鵬の銅像を大鵬の生誕地ロシア・サハリン州ポロナイスク市に建てる計画を支援するために設立されました。（詳細は２月号に掲載）

会計から寄付金についての報告があり、大潟村を中心に村外からもたくさんの支援をいただいていること、必要費用８００万円を目標に今後も役員が一丸となって尽力すること、寄付金集めの方法などを確認しました。

支援の輪が確実に広がっています。村民の皆様には今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします

サハリン（ロシア）に
大鵬像を建てるプロジェクトへの
寄付金のお願い

サハリンに大鵬の銅像を建てる会　会長　**髙　橋　浩　人**

皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

このたび故横綱大鵬の生まれ故郷であるロシア「サハリン州ポロナイスク市（旧樺太の敷香町）」に銅像を建設したいという話が現地で持ち上がり、秋田県大潟村在住の彫刻家（日本美術家連盟会員、二紀会会員、秋田国際美術家協会会長）の鎌田俊夫氏が、この銅像の制作を正式に引き受けました。

私たちは、我が大潟村の彫刻家鎌田氏への応援態勢と、その支援母体を大潟村で作るべきだと考え、「サハリンに大鵬の銅像を建てる会」を本年１月に設立致しました。

この会では国際慣行上、大鵬像をサハリン州・ポロナイスク市への贈り物として考えているため、その制作に関わる一切の費用を集める寄付金活動を現在展開しております。

サハリンに大鵬の銅像を建てるプロジェクトのホームページ（http://www.taihou-douzou.com/）や、先日皆様のご自宅にお配りしましたリーフレットにもあります通り多くの方々よりご賛同を頂いておりますが、現在も必要費用800万円を目標に、皆様からのご支援をお願いしている次第です。

つきましては、趣旨をご理解頂き、大潟村、秋田県、日本全国からのあたたかいご芳志を募りたいと存じます。

どうぞ多数の方々のご賛同を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大鵬夫人をはじめ、たくさんの方々のご賛同を頂いております。

各役員が住区の皆様のもとに、ご支援のお願いに直接伺うことがございますが、何卒よろしくお願いいたします。

◎募金箱を村内５箇所

・大潟村役場　・ＪＡ大潟村　・ポルダー潟の湯
・ホテルサンルーラル大潟　・産直センター潟の店

に設置しておりますので、こちらもぜひご利用ください。

特集

女性部・青年部・若妻部 総会

～知恵と力を出し合い、組織づくり・地域づくりを～

女性部・青年部・若妻部では２月下旬に総会を行い、25年度の事業報告や26年度の事業計画などを審議。各部とも計画は承認され、26年度にむけての一歩を踏み出しました。当日の様子をご紹介いたします。

★女性部（第46回）

～体レク部と生活環境部が一つになり、「エコ・レク部」が誕生～

女性部は2月28日、ＪＡ会館大会議室を会場に開催しました。はじめに三村敏子部長が1年間の活動を振り返り、「テーマ「伝承」サブテーマ「食と農」を掲げた25年度は、大豆・野菜栽培講習会、ＪＡ秋田やまもとでの伝統料理の講習、米油を使った料理教室などを開催した。男女共同参画については、女性部研修で上野千鶴子氏を招いての講演会「世直し　女の出番」を開催することができたことが大変心に残っている。また、忙しい中各種会議に参加したり、女性部活動だよりに原稿を寄せてくれたりした部員の皆さんに感謝したい」と述べ、総会での活発な意見交換を求めました。

部長あいさつ

議案審議では執行部が事業報告と事業計画について説明。26年度はテーマ「食と生活」・サブテーマ「すこやかな老後のために」を設けて活動することを提案。体レク部と生活環境部を一つにし、「エコ・レク部」という新たな部としてスタートすることなど、話し合いの結果すべての議案を可決しました。

昼食をはさんで午後からは、講演「知らないと損する介護保険の仕組み～村の現状と将来」、オカリナ漫才「ＹＯＵ＆ＭＩＥ」、ＤＶＤ鑑賞「子供が作るお弁当の日」を行いました。

受付では卵ケースの回収も▶
同時に行いました

◀あぐりプラザ３倍クーポン
体験コーナーも設置しました

●議案

第1号　平成25年度事業報告並びに収支決算の承認について
(1)　平成25年度事業報告並びに収支決算報告
(2)　監査報告
第2号　平成26年度事業計画並びに予算の承認について
(1)　平成26年度のテーマ（案）・課題（案）について
(2)　平成26年度事業計画（案）並びに予算（案）について
第3号　生活環境部廃止（案）について

●26年度役員（敬称略）

部　長：三村敏子
副部長：芹田妙子・栢森慶子
会　計：柏　雄子
監　事：浅沼トク子・鈴木富士子

★青年部（第38回）

～不確定・突発的な事に対応できるよう、青年部員一致団結を～

青年部は2月28日、公民館を会場に開催。開会にあたり吉原忍部長が25年度を振り返り、「ばか苗病が落ち着きを見せ一安心と思ったところ、田植え後にハモグリバエが発生して一時騒然とした。26年度も不確定な事や突発的な事に対応できるようにするために学習会を行っていきたい」と述べ、今後の活動への更なる参加を呼びかけました。

議案審議では事業報告と事業計画などについて話し合いました。青年部では現在、「学習部」と「交流部」という2つの部を柱として事業を展開しており、25年度、学習部はハウス巡回など農業基礎技術の学習会、青年組織4団体合同勉強会など営農・農政に関する学習会、種苗交換会視察など県内研修を実施。交流部は、秋田市での農産物販売・PR活動や村内イベントへの出店などのほか、村外（JA秋田みなみ）・県外（JA中札内村）の青年部との親睦を深めるとともに活発な意見交換を実施。26年度以降も引き続き交流を行うことを確認し、すべての議案を可決。役員改選も行い、新たな役員が決定しました。

総会終了後には農協職員による、営農に関する学習会を行いました。

議事進行

議長に選任された日諸さん

●議案

第1号　平成25年度事業報告並びに収支決算について
監査報告
第2号　平成26年度事業計画(案)並びに予算(案)について
第3号　役員改選

●26年度役員（敬称略）

部　長：吉原　忍
副部長：前田　久・戸堀　誠
事務局長：岩井悠宇
会　計：栄田幸悦

★若妻部（第32回）

～柔軟な組織運営でより一層の飛躍を～

若妻部は2月21日、JA会館大会議室を会場に開催しました。はじめに執行部代表の金子明子さんのあいさつがあり、「「おためし会員制度」や部員の声掛けのおかげでまた新たに部員を迎えられた。25年度は新体制を次へと渡すつなぎ役として柔軟に対応し、より活動しやすくなることを心がけた。部内での連絡事項のやりとりでは家事や子育てが忙しいお互いを気遣い、皆的確に簡潔にメールを送ってくれた。メンバーの思いやりに本当に感謝している」と述べ、今後の活動への積極的な参加を呼びかけました。

24年度に班の再編成や役員選出方法の変更等を行い、新体制になった若妻部。25年度はこの新体制を引き継ぎながら、議案審議では執行部が事業報告と事業計画について説明。今後の活動のさらなる充実を目指し、柔軟な組織運営を行っていく方向で、役員の負担軽減を目的としたお手伝い募集（案）について」など全ての議案を可決しました。また、1年間の任期満了に伴う役員改選を行い、新たな執行部員6名が決定しました。

総会終了後は村と秋田県国保連合会主催の「輝け★わたし～ココロとカラダの美力（みりょく）アップ！～」に参加（記事は前月号に掲載）。仲間と共に楽しくリフレッシュを図りました。

執行部代表のあいさつ

新執行部に選ばれた皆さん

●議案

第1号　平成25年度事業報告並びに決算報告及び監査報告
第2号　平成26年度事業計画(案)並びに予算(案)の承認について
第3号　規約改正(案)について
第4号　お手伝い募集(案)について
第5号　役員改選並びに新役員挨拶

●26年度執行部（敬称略）

蓬田貴子・成田まどか・黒瀬恵理
中原裕美・前川いづみ・鈴木久美子

〈ご加入のお申し込み〉女性部・若妻部➡生活課生活指導担当（TEL45−2214）、青年部➡営農支援課営農指導担当（TEL45−3033）まで。

報告 座談会

3月7日、大会議室を会場に座談会を開催しました。協議事項は「25年度実績見込み」「26年度計画案」など。開会にあたり小林肇組合長はＪＡの現状について説明し、26年度事業のための積極的な意見交換を求めました。お寄せいただいた意見や要望をご紹介いたします。

Q 25年度に見込まれる税引前当期剰余金が1億5千6百万円となっているが、25年度計画7千9百万円に対して桁ひとつ多い。これは儲かり過ぎではないか。課税額はいくらになるのか。

A 7千百万円になる。

Q 油の高騰など色々な理由があって利益を上げたが、それを税金で返す、つまり我々から搾取して国に税金として返すというのはいかがなものか。ＪＡは今年資材倉庫を建設したが、まだまだやることはたくさんあるのでは？儲かった分をどんどん投資して、税金を多く納めないように頑張ってほしい。

A ここ数年、暗渠事業関連からもかなり利益が生まれている。しかしこれから色々な施設の更新が見込まれる。昨年は地上タンクを地下タンクに替え、今年は肥料倉庫を建設した。当初予算は1億円だったが、鉄の高騰・人材不足による人件費の高騰などがあり、予算内に収まらず大変申し訳なかった。しかし我々が考えていた、中柱のない使い勝手の良い立派な倉庫ができた。当初下屋も一緒に付けたかったが、かなり予算をオーバーしてしまうので、その部分は次年度以降に持ち越すことを考えている。また、今年は2億円かけてコンピュータの更新を行っており、5年間で単年度4千万円の償却となる。今まで長くコンピュータを使っていた分、このような償却はなかったので楽だった。しかしWindows XPの保証が切れ、Windows 7に変えなければいけないため更新をする必要があり、特に26年度はかなり厳しい試算になると思う。油の問題についてだが、スタート時は利益を稼げなくて大変苦労した。しかし全農ではなく、民間の商系から燃料を仕入れることによりなんとか利幅を確保でき、この数字を確保できた。今年は4千万円の組合員還元を行うことを理事会で決定している。そういった部分で、出来る限り還元していきたい。さらに、現在ＪＡの自己資本比率は14・6％であるが、バーゼルⅢ（新しい自己資本比率規制のこと）による会計基準の見直しで、自己資本比率が3％ほど下がってしまう。従って、内部留保をある程度することがＪＡとして求められるのでぜひご理解いただきたい。特にＪＡ大潟村は組合員の皆様から、合併せずになんとか単独で頑張ってほしいと言われている状況のため、自己資本比率と財務体質の強化を併せて行っていきたいと考えている。

Q 環境に配慮した農業に対するＪＡの姿勢は？日本の食糧基地として造られたモデル農村なので、安全・安心な食糧を国民に届けていくという姿勢が大事だと思う。

A ＪＡではかなり害の少ない農薬を揃えており、農薬を使う・使わないという判断は農家に任せている。安全・安心な食糧を届ける立場として農薬の組み合わせ・魚毒性などをこれからも皆様と勉強しながら進めていきたい。

Q ネオニコチノイド系農薬の勉強会でミツバチなどの昆虫が減っているという話を聞き、大変怖い状況になっていると改めて感じた。生態系への影響が非常に大きいという。子どもたちの脳神経を狂わせ、自閉症傾向の子ども、性同一性障害の子どもが増えているという外国の調査結果もあった。大潟村は早くから航空防除をやめており、水田用除草剤MOについては、不純物としてダイオキシンが含まれているという事で、国がやめる10年も前にやめ、環境創造型農業宣言をしている村でもある。ネオニコチノイド系農薬が非常に危険だと言われている中で、EUと比べると日本の農薬の基準は緩い。その辺をＪＡとしてどのように考えているのか。

A ネオニコチノイド系農薬は全部で7系統に分類される。そのうちの3系統はEUで使用を控えることになった。皆様になじみのある薬剤の名前として挙げると「モスピラン」「ダントツ」「アクタラ」がある。ミツバチの蜂群崩壊など色々な問題が出ているが、神経毒が特徴の農薬はネオニコチノイド系だけでなく、有機塩素系や有機リン系など色々ある。したがって総合的に、殺虫剤をどのように変えていかなければいけないのかが問題になると思う。

Q カメムシに効く「スタークル」がネオニコチロイド系農薬だと聞いたが、もし使わなくて済むのであればなるべく使わないようにしようというように、ＪＡとして方向性を打ち出してほしい。

A 村で一番使われていると思われる殺虫剤「スタークル」は、国の基準の中ではかなり安全性が高いと言われている。営農支援課でもカメムシによる害を検証しながら勉強し、皆様に情報提供したい。

Q 整備課の事業計画に「農業機械による農作業事故撲滅の取組」とあるが、青年部の勉強会で使いたいので、実際にあった作業事故の一覧などを出してほしい。

A 後ほど正確にまとめたものをお渡ししますので、ぜひご活用ください。

Q 事業管理費の実績見込みが計画より1千3百万円ほど下回っているが、人件費と施設管理費がどのように削られたのか教えてほしい。

A 25年度事業計画の策定後に当初予定しなかった3名の退職者が出たため、人件費の部分が大きく下回った。決して職員の給与を下げているわけではなく、県内でも大変良い給与だと言われている。賞与もきちんと出している。また、当初上半期頃に取得予定だった資材倉庫だが、現実には3月から減価償却が始まることになった。そのため25年度については約1か月分の減価償却しか発生しないので、施設管理費の計画対比減につながった。

Q 資材・農機・自動車の部門別実績見込みが、増税前の駆け込み需要により計画をだいぶ上回ると思うが、来年は反動で下がることが予想される。儲けがいっぱい出たからといって、たくさん組合員還元すると後で困るのではないか。

A 特に農機について、田植機・トラクター・コンバインは高額なため、消費税が上がる前に注文するという事が当然起こっており計画の倍近い実績が見込まれている。その部分では必ず来年影響が出てくると思う。26年度はコンピュータの↖

減価償却費が大きく上がってくるし、かなり苦しいことが予想される。しかしながら、暗渠事業は26年度も続くようだし、そういう部分はＪＡにとってプラスに表れると思う。燃料については原油価格の上げ下げがあり、仕入れ元との調整が必要になる。特にガソリン価格については組合員の方々に「どこにも負けるな」と言われているので、安く提供できるよう努力したいし、そのためにも全農以外の商系もテーブルに上げて、色々と情報を入れながらＪＡの利益確保のために頑張りたい。

Q 資材課の事業計画に「資材課購買電算システムの導入」とある。これから農繁期になるが、資材窓口はどのように変わるのか？

A 現在電算システム業者との話し合いを進めており、今年の7月から新システムへ切り替える予定である。現在は数字を打鍵して供給処理を行っているが、それに加えてタッチパネル操作での入力ができるようにシステムを構築している。今までは本所サーバーのシステムと棚卸システムとのデータ連携が取れていなかったが、同時にシステムを構築し連携することで、棚卸時の事務負担軽減になる。理事会ではバーコード化の要望があるが、購買品在庫は組合員の資産であるという認識を持ち、今後もしっかり管理していきたい。さらには皆様からのご意見を頂きながら、明るくきれいで使いやすい資材課を目指したい。

Q 営農支援課の事業計画に「試験研究事業への取組」とあり、米の新品種に大いに期待している。村はどうしても全体的に稲の背丈が伸びやすい地域で、できれば短く作りたいが方法がよく分からない。品種の数を広げてそういうことにも研究の道を広げてほしい。

A 品種改良について今回新たに2品種が登録される。この次の品種として特Ａを目指すのか、多収を目指すのかはこれから検討するが、村の土地に合った品種の確保が将来的に必要な戦略なので、ＪＡでも市場性などを含めて研究したい。今まで我々生産者は主食としてばかり米を見てきたが、村は22年から加工用米の作付けに大きく動いた。これにより加工用米の実需者も我々の消費団体だということがよく分かった。従って加工実需者と連携が取れるような体制を取ることが、農家の所得の安定につながると思う。現在は特に加工用米の部分で伸びているが、今後各地で加工用米の生産に力を入れた場合、価格が下落することが当然考えられる。従って、大潟村がもちに取り組んでいて良かったと思っている。最終的にはマーケットを見ながら農家が判断するようにと国も言っているので、そういった判断力を我々もしっかり磨いていかなくてはいけないし、皆様からも色々な情報を頂きたいのでよろしくお願いします。

Q 村の葬祭について、村民センターを改修することに決まった。ソフト面についてはどうなったのか。

A ソフト面についてはこれからルーラルと話を詰めていく。通夜ぶるまいとお斎（おとき）の料理については基本的にルーラルにおまかせする方向で考えている。イス並べについてはシルバー人材センターから、料金はいただくがこちらでもできるという返事をもらっている。最終的には喪主の方々にどこまでやるのかを丁寧に聞きながら、お逮夜はルーラルで、ルーラルがいっぱいであれば村民センターで行う方法、そういったもの全てに対応できるようにしたいと思っている。

Q 米の制度が変わるという事で米価が非常に不安定、もしくは下落すると思う。このことも踏まえて、営農支援課の事業計画に「野菜の生産振興」とあるが、26年度新たに始める取り組みがあれば教えてほしい。

A 新しい品目というのはまだこちらから提案できていない。しかし、「メロンとカボチャの産地復活」ということで若い方に頑張っていただきたいと考えている。栽培の経験がない人に対しては丁寧な栽培講習をし、良いものが出来た方を表彰するなどして、これからの核になってもらう意識付けをどんどんやっていきたい。村はかつてメロンの一大産地だったし、今でも栽培が続いている。技術を持っている方はたくさん村にいるのでご協力いただき、若い方の力を借りて面積と数量を増やしていきたい。また、園芸団地がうまく活用されていないので、フル活用するために排水対策等を考えていかなければいけない。大潟村はどうしても「土地利用型作物」の栽培が主流だったが、ここにきて「施設型」が見直されてきている。農家の所得を安定させる目的でそういうものも取り入れていかなければいけないと思う。現在いろいろなメニューを組み立てている最中だが、皆様が取り組みたいというものがあれば営農支援課に遠慮なくご提案下さい。

Q 先日秋田市で「山形ガールズ」の講演会があり、非常に女性らしい30代の女性たちがグループになり農業をやっているとのことだった。大変良かったので、ぜひＪＡでも講演会に呼んでほしい。

A ＪＡまつりなどに呼ぶことを検討したい。昨年はじめてＪＡまつりを開催させていただいた。あいにく天候が悪く屋内で全てのイベントを行ったが、26年度も開催することを決定している。何ができるか、毎年同じパターンではなくいくつかトライしながらやっていきたい。新しい職員が入ってきているので、後継者世代にも入植者世代にもＪＡ職員を知っていただけるようにこれからも交流を続けていく。

Q 営農支援課の事業計画にある「営農支援体制の充実」とは具体的にどういうことか？

A 今年は手始めとして多収技術の確立という事で圃場を巡回させて頂き、データ収集している。また、25年度から3年間かけて村内の土壌分析を行っているところである。そういったデータ作りをしながら皆様の営農に役立てて頂きたいと思っている。

Q 営農支援課の事業計画にある「後継者の農業技術向上への取組」とは具体的にどういうことか？

A 年明けに皆様へコントラクター（農作業受託組織）のアンケートを配布し、70件ほど回答を頂いた。「後継者が今のところいない」「農地を貸付したい」という数字もかなり高かった。現在受託組合がありその中でやっているが、どうしても農繁期に入ると受託組合がうまく機能しない。従って全般的な作業を受託する組織をもう一度作りたいと考えている。そこで、農家の中で親が健在で、まだ余力がある若い人たちにコントラクターとして入ってもらい、技術を身につけて頂きたい。そして経営移譲の際には一人前の農業経営者としてお返ししたい。「まだ自分が若いので後継者を出したい」という意見も20件ほどあった。そういうところを集約しながら、若い人の農業技術の確立に努めていきたいと思っている。

★皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。ご意見やご要望を今後のＪＡ運営に活かすことができるよう、役職員一同努力してまいります。

第357号

女性部「活動だより」

行事予定や各委員会からの報告事項などについてお知らせいたします。

これからの行事予定

7月6日　南秋連合婦人会大会・消費者大会
7月17日　ＪＡ女性協・家の光大会
8月26日　全県婦人会大会

★各委員会からの報告

●不用衣類回収（２月14日）

婦人会環境部と役場の協力で行いました。くもり時々晴れの中、持ってきてもらった衣類を部員５名が計量し、トラックに積み込みました。重量は300㎏弱で、秋田市内のマップユニ秋田へ運ばれました。皆様のご協力本当にありがとうございました。今年は環境部が少し変わり、新しい環境部としてスタートします。皆様と共に色々な問題に取り組んでいきたいと思います。（石川千春記）

●エルダーの集い（３月５日）

春がもうすぐやってきます。冬ごもりしていた体と心をリフレッシュしてみませんか。と呼びかけました。

●３Ｂ体操で体をほぐしましょう。●なつかしい歌をうたいましょう。●お茶とおしゃべりタイム。

全員が輪になりボールを回すゲームの様な体操から、２人が組になり協力し合いながら体を伸ばしたり、ひもを使い１人で静かにストレッチしたり、心も体も温まりました。歌は春らしい曲から始まって、富士山、四季の歌など全10曲を、姿勢を正してお腹の底から声を出すようにと教えていただき、いい声が気持ち良く出せました。おしゃべりタイムでは住み慣れた大潟村に最後まで暮らしたいが、在宅介護になった場合緊急時の医療体制がほしい、村にサービス付き高齢者住宅は造れないものか、など、長年家族を介護されている方からの話題提供がされました。常に情報を集め勉強されている事に刺激を受けました。自分も急にどのような状態になるか分からない年になりましたが、体を動かし仲間との集いに参加しながら長く元気でいられる様に意識して生活していきます。最後の時まで大潟村で暮らせますように！　（参加者記）

●新役員顔合わせ・引継ぎ（３月17日）

新年度の活動がスタートした。新役員の顔合わせと、新しく生まれた「エコ・レク部」のメンバーの確認から始まった。初年度のメンバーは10人。文字通り、旧生活環境部と体レク部両部の活動を受け継ぐ。どんどんアイディアを出し部員自ら楽しめるような部になってほしい。

今年は50周年の記念行事が目白押し。役員に限らずみなさんの協力が必要になるだろう。

主な話し合いのまとめ

○各住区エコ・レク部部員の確認
○今後の役員会はなるべく午後早い時間帯で
○移動研修は一泊でという声があったが、時期的なことや予算のこともあり、お金のかからない「日帰り」ということになった。提案のあった「秋田市めぐり」も検討に入れ６月の役員会で決めることに
○盆踊り大会を盛り上げるためになるべく多くの人が参加し楽しもう

エコ・レク部　選出された役員の方々

部　　長　小松ひとみ
副 部 長　餌取　京子
会　　計　一色田二美
活動事業　バレーボール大会：12月３日
　　不用衣類回収：未定

●水稲育苗・野菜栽培講習会（３月20日）

参加者が30名を超えて、10数名を予想していた私にとっては、驚きのうれしい参加人数でした。

たまたま一番小さいＪＡ会館談話室しか部屋が予約できなかったので、狭くて、みなさんにはご迷惑をおかけしました。半数の参加者が女性部員外の方で、男性も参加頂き、開催した者として本当に嬉しかったです。

営農支援センターのご協力により、水稲育苗には斉藤春彦氏、野菜栽培（ジャガイモ・にんじん）には三浦濃氏よりご指導頂きました。「シルバーポリは、何のためにかけるの？何年使えるの？（答え：芽のそろいをよくするため。７年くらいは大丈夫。）」とか、「田植え後の育苗ハウスで６月頃、ジャガイモ種を植えても大丈夫？（答え：大丈夫だけれど生育期間が短くなるので、小さい芋になる）」など様々な質問も出て、有意義な２時間半でした。　（三村敏子記）

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課（TEL：45－3033）までご連絡ください！

●活動報告　３月の活動報告はありません

●活動予定　４月の活動予定は未定です

－五城目警察署からのおしらせ－

春の全国交通安全運動

～４月６日（日）から４月15日（火）までの10日間～

【運動の基本】子どもと高齢者の交通事故防止

【運動の重点】◆自転車の安全利用の推進
◆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
◆飲酒運転の根絶
◆横断歩行者の交通事故防止

★ドライバーの皆さんへ★

横断しようとしている歩行者を見かけたときは、横断歩道の手前で一時停止し、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。

五城目警察署　TEL 018-852-4100

職員人事

採用　３月１日付

つぎの者を職員として採用いたしました。

進藤　　匡（総務課）

異動　３月10日付

職員の人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

氏　名	新　　任	旧　　任
佐々木夕子	営農支援課販売係	金融課貯金係

永年勤続職員のご紹介

４月２日の朝礼で永年勤続職員の表彰を行いましたので、ご紹介いたします。

★勤続30年以上

西方　一明（経営課）　納谷　和代（監査課）

★勤続20年以上

伊藤　　悌（営農支援課）　堀　　則彦（総務課）
三浦　恵治（資材課）　中原　　進（給油所）
畠山　深雪（経営課）

★勤続10年以上

石井　公士（整備課）　北嶋　尚之（整備課）
菅原　博樹（経営課）

理事会報告

３月25日開催

報告事項

・業務報告（２月末事業実績等）
・コンプライアンス委員会報告
・内部監査報告
・平成26年度コンプライアンス・プログラムの制定について
・平成26年度不測事態対応計画の制定について
・平成26年度個人情報保護計画・個人情報保護対策進捗管理表（マスタープラン）の制定について
・経済事業現金取扱要領の制定について
・購買事業（販売・指導事業含む）の現金管理事務手続きの廃止について
・乗車券購入取扱に関する要項の一部改正について
・貸出条件緩和債権判定基準の一部改正について
・便利屋業務要領の一部改正について
・外国口座税務コンプライアンス法対応要綱の制定について
・内国為替取引実施要項の一部改正について
・顧客手数料及び金融機関利用料金表の一部改正について
・自賠責共済代理店手数料取扱規定の一部改正について
・農家経営改善対策委員会報告

議　案

第 99 号　土地賃貸借契約について
第100号　安心・安全な農産物づくり運営規程の一部改正について
第101号　理事会規程の一部改正について
第102号　職制規程の一部改正について
第103号　経理規程の一部改正について
第104号　生産資材倉庫建設検討委員会設置規程の廃止について
第105号　退職給付会計制度取扱規程の廃止について
第106号　職員育児休業規程の一部改正について
第108号　時間外労働・休日労働に関する協定について
第109号　１年単位の変形労働時間制に関する労使協定について
第110号　平成25年度決算方針について
第111号　平成26年度全般統制・不祥事未然防止行動計画について
第112号　平成26年度内部統制整備基本計画書の制定について
第113号　女性参与の選任について
第114号　年度末手当の支給について
第115号　貸付金について
第116号　出資口数減少願いについて

協議事項

平成26年度事業計画（案）について

ＪＡ大潟村の概況　26年３月末現在

出　資　金……8億9,140万円
正組合員数……　1,139名
准組合員数……　36名

※決算のため、貯金・貸出金額の掲載は休みます。

No.193 初めての **お誕生日おめでとう!!**

佐々木　聡（そう）ちゃん

最近のそうはバイバイを覚え、Ａコープのお客さんや店員さんに愛想を振りまく毎日です。レジに行くとなぜか大興奮！誰にでも抱っこされてにこにこしています。これからもすくすく育ってね♡

藤田　瑞己（みずき）ちゃん

外では、とってもはずかしがりや。家では、とってもやんちゃな瑞己です。あんよで自由に動けるようになり、「あっちこっち気になる!!」がとまりません（笑）これからもたくさんの経験を通して、ひとつひとつ成長していこうね☆

後藤　栞奈（かんな）ちゃん

毎日ご飯をたくさん食べて、高速ハイハイで家中を動き回っています。すくすく元気に大きくなってね。

桑原　愛月（あむ）ちゃん

うちの活発なヤンチャ娘。歌が大好きで手を叩いて踊ります。最近やっとよちよち歩けるようになったあむさん。もう少し暖かくなったら一緒にお外で遊ぼうね♡

このコーナーに掲載希望の方はご連絡お待ちしております。TEL 45－2211　広報担当

Information

ゴールデンウィーク期間中のＡＴＭサービスの取扱いについて

いつもＪＡバンクをご利用いただきありがとうございます。ＪＡバンクではＡＴＭの取扱いは以下のようになっております。大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日　付	ATM	備　考
5月3日(土)	×	システムメンテナンスにより全国の全ＡＴＭで利用できません。
5月4日(日)	○	全国の全ＡＴＭで利用できます。
5月5日(月)	△	県内ＪＡバンクＡＴＭのみ利用できます。
5月6日(火)	○	全国の全ＡＴＭで利用できます。

お問い合わせは金融課（45−3018）まで。

ゴールデンウィーク期間中の緊急時連絡先について

緊急時連絡先（24時間対応）	
共済・事故対応	ＪＡ共済（0120−258−931）
金融・ＪＡカード	集中監視センター（0120−411−180）
	ＮＩＣＯＳ盗難紛失受付センター（0120−159−674） ※ＪＡカード（クレジット）を紛失の際はこちらにもご連絡ください

新採用職員のご紹介

これから皆様のお世話になる、平成25年度新規採用の職員です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

進藤（しんどう）　匡（ただし）

- **出身**：大仙市
- **年　齢**：40歳
- **所属**：総務課
- **好きな物**：ラーメン
- **趣味**：釣り・短距離競走
- **ひとこと**：今までのＪＡ電算業務のスキルを活かし、ＪＡ大潟村の電算の飛躍に貢献します。何卒よろしくお願い致します。

平成26年度　参与のご紹介

ＪＡ大潟村では、女性部・若妻部よりご推薦をいただき、つぎの方々を３月25日の理事会において参与に選任いたしました。お二人とも、昨年度に引き続きお引き受けいただいた方々です。今年度も女性層の代表として、ご意見・ご要望をいただき、ＪＡ大潟村の組織運営の活性化と事業活動の強化をはかって参りますので、よろしくお願い申し上げます。

芹田　妙子さん（東２の４ 女性部副部長）

小日山宏美さん（西３の１ 若妻部）

〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-5　TEL 0185-45-2211㈹　FAX 0185-45-2273
インターネットアドレス http://www.ja-ogata.or.jp/　組合長ブログ http://blog.ja-ogata.or.jp/
発行／大潟村農業協同組合　印刷：㈱八郎潟印刷